

ブラックウォールナットサイドボード天板お買い上げ

神奈川県の方で、ご自身でサイドボードをお作りになっている方からブラックウォールナットのサイドボードの天板を買っていただきました。仕様と写真は下に書きます。

*ウォールナット荒木サイズ 長さ2500ミリ厚み40ミリ巾490ミリ (お買い上げ荒木木材製品)

*ウォールナット仕上がりサイズ長さ1620ミリ厚み32ミリ巾450ミリ (お買い上げ仕上がり商品)



1620X32X450 (仕上がり・表)



1620X32X450 (仕上がり・裏)



2500X40X490 (荒木商品)



ウォールナットの木目の美しさ

お客様からの要望はプレナ仕上げした後サンダーにて磨いて下さい。巾も450ミに落とし長さも1620ミに仕上げてください。と言う要望でした。正式なご注文を頂いてから木目の逆目・順目を見ながら手押しを掛け、次にプレナを掛け、最後にベルトサンダー(木口もサイドも)を掛けて仕上げました。

やっぱり無垢って素晴らしいですね。工業化商品ではこの味わいは無いですよ。

第 8 回勉強会と第 3 回木材展示即売会

2月11日の祝日『建国記念日』に第八回服部商店勉強会と第三回木材展示即売会を催そうと計画をしたのは12月の末頃でした。それから最終決定をしたのは1月末でした。それから大急ぎで服部新聞の購読者と仕入先・お客様にご案内を出すまでは、順調に進んだ『製材する原木の選定を除く』と思います。しかしその週の天気予報を見ると大阪は雪の可能性が凄く高いでは有りませんか、前日の天気予報は1日雪が降り交通にも障害が出るとの予報でした。小生は当日前夜早朝1時・3時に気になって何度も起きましたがその時点では雪はまだ降っていませんでした。しかし5時に起きたときは、本日は



大変な日になりそうだなーと思い、5時に起床し大急ぎで岸和田の服部商店の本社に向かいました。道中コンビニに立ち寄りしましたが、雪がシャーベット状になりかけていて、本日の催しの開催にはお客様が来るのは無理だなと思いました。しかし前日富山県の材木屋さんで丸紘木材(株) 海老紘義会長様からお電話を(富山県からサンダーボードで服部さん所へ午前5時発で行きます。)頂いているので参加をして頂ける方が1人でも開催しようと朝心に決めました。ところが高速道路が閉鎖されているにも拘わらず全員で約25名の方が来てくれました。

朝8時に一番早い方が来られ正直びっくりしましたが、足の便も普通でも悪い岸和田までこの大雪にも拘わらず訪問していただいた方に凄く感謝いたしています。

数えて8回目の勉強会になりますが、タモ・ナラ・スプルー・チーク・ブラックチェリー・ブラックウォールナット・アメリカ広葉樹の使い方等色々な材木をご紹介してきましたが、今回はお見せする原木に凄く悩みました。と言うのは毎月服部新聞でお客様に現在の広葉樹原木の高騰のお話を送っていますが、本当に何もかも木が高騰し買いにくくなっているのです。勉強会のご案内後偶然1月の25日の旭川の銘木市で3本のマカバ材が落札出来たので、最終的に勉強会のご案内『ナラ・タモから変更が生じました』をマカバにしました。そして偶然落札出来たマカバ材の1本が東京大学北海道演習林材だったので、東京大学演習林とは何かの話をする事ができました。その話とは次の様なことです。日本中で一ヶ所残った循環型森林で、しかも優良広葉樹を計画的に半永久的に生産出来る森林で有り大事に森林が守られています。来場者の方に写真もお渡し出来ました

そしてマカバの製材に入りましたが凄く曲がっている原木なので、特に木に優しい製材方法を取りました。何時も言っている『本木を見て胴割りをする・この時点で有る程度原木の芯に掛かる応力を抜く作業』安全策の製材を



しましたが。曲がりの為に芯の柁板をどう生かすか少し悩みましたが、これも服部商店の家訓に商いと儲けるに在らず損しない事が一番を思い出し、良い柁目の広い方をまず生かす、失敗しても必ず良い方は90点以上の製材をして、もし上手く行ったら狭い方の柁目も生かせたら良いなと思い製材しました。結果は凄く上手く行きました。凄く良い製材品が出来たと思います。製材した製材品の厚みは27ミリ・34ミリ・40ミリ・45ミリ・51ミリの耳付き・耳断ちの板ですが、今回は特に厚く製材しました。と言うのは原木の高騰は我々材木屋でも極一部の関係者しか解かっていません。同業者でも全然解かっていない方が大半だと今現在承知しているからです。

私の得意先の大勢の方は木材高騰の話は服部新聞で有る程度理解はして頂いていると思いますが、プロの材木屋も高騰していることが解かっていないのなら、エンドユーザーに近い方は解かるはずも無いと考え、値上がりした木材価格をしっかりと把握できるのは何年先だか解かりませんが、乾燥しても絶対厚みが薄くならないよう厚み方向をプラス3ミリにて製材しました。(27→30・34→37・40→43・45→48・51→54)販売するサイズより厚く製材すると歩留まりが悪くなりますが、その事よりお客様に良い製材品を提供する服部商店の方針からすれば当たり前の仕事だと思えます。

30分遅らせて木材展示即売会を開催しましたが、今回地方の材木屋さんの特別出品材『格安販売の委託材』は60%以上販売が出来たと思えます。トチ・ケヤキ・ホオ・ジマツ・イチョウの巾広材は多少ねじったり変形していますが、乾燥が完全に仕上がっている古い材のお陰でお客様に納得価格を提示出来、お客様からも大きな作品は無理ですが、小物なら作り概の有る商品ですと。言って貰いました。

こんな悪天候にも拘わらず大勢の方が来て頂いたので、臨時に3月12日(土曜日) AM10:00~AM11:00の予定で第9回勉強会を催します。次回第9回勉強会はセン原木の製材を見て頂きます。なお参加者の限定は有りません。時間が有れば自由にご参加ください。

別紙アンケートで早めにお返事頂けます様御願ひ致します。軽食とお茶の段取りがありますので宜しく御願ひ致します。

秋には多分もっと困る可能性が大です。

服部雅章には亡き父が残してくれた大先輩の材木関係の友人が数多くいますが、南洋材・中国材・ロシア材・アフリカ材等々何もかも現地の木材(原木から製材品・加工品・製材方法)事情が解かる方はそんなに多くいないと思えます。名前は理由が有って申し上げられませんが、1月の25日の夕方その先輩にこれから半年から1年先の木材の供給がどうなるかの話を約2時間余り聞きに行って来ました。材木屋の世間話を挟みながらお話を承ってきました。結論から言います。今年の秋以降全ての材が値上がりする。其れは良い木材かそうでない木材かそんな物は関係ないと言っていました。皆様に極一部の話を『車が中国だけでなく世界中で売れていますね、それには必然とタイヤが必要です。タイヤを作る成分の多くは石油から作る人工ゴムですが、人工ゴムだけでは良いタイヤにはなりません。人工ゴムに天然ゴムを混ぜないと良いタイヤにはならないそうです。天然ゴムは現在東南アジアのプランテーションで栽培されています。元は森林だった所を焼畑してプランテーションにしたのです。天然ゴムの増産を図るにしても森林保護の為新規の焼畑は制限されていますので、栽培面積を広げる事は不可能なわけです。ここまでの話だと秋には多分もっと困る可能性がある。と言う話は全然関係ないと思われそうですが、ホームセンター等で販売されている子供用の学習机に使われている木材はゴムと言う樹種名(ラバーウッド)だをご存知の方は多くいると思えます。最近はそのラバーウッド材までベニヤの芯材に剥いて使われているのです。又以前と違うのはゴムの樹液の出が悪くなった立ち木を伐採して木製品にしていたのですが、現在のゴム園では天然ゴムが需要に全然追いつかず搾り出すだけ搾り出し完全に樹液が出なくなるまで伐採をしないようなのです。完全に樹液が出なくなってから伐採しているので以前の様な潤沢な供給にならないのです。又日本の広葉樹原料の大きな供給先のロシアは現在石油で国家が潤っています。木を多く伐採しなくても経済が潤沢に廻り大変しんどい伐採事業をする必要はないとの話です。短期的に多くの広葉樹資源を伐採する方向から長く広葉樹資源を持たず方向にむいていると言う事とも言っていました。中国国内も国内産の広葉樹原料が大変不足しており日本向けに多少単価が良くても従業員の雇用の為に使う方が国の安定に繋がると考え日本の国の広葉樹原料の不足などお構いなしです。』します。

私の先輩はこうも『お客様は大事です。しかし全てのお客様を満足させる事はできないぞ。何も服部君がお客様



を選別するのではなく、他の要素で離れるお客様も有るから、今大事にしているお客様に本当の話を伝えるのがあなたの仕事です。』おっしゃっていました。

お客様の声

弊社のホームページ (<http://www.hattoriwood.co.jp>) から高額のアラ耳付き板『加工賃含む総額約17万円』を買って頂いたお客様の声をそのまま書かして頂きます。このお客様は関東のお客様です。匿名を守って欲しいと言う条件で1～5の質問にお答えを頂きました。

ご質問について、新居が基礎を始めたのが12月に入ってからで、取り付け自体は1月始めに終わっていますが、現在はまだ養生されて資材が置かれており、写真が撮れるような状況にまだなっておりません。

このため、遅くなりましたがとりあえず質問への回答のみさせていただきます。伝えきれなかったと思いますが、カウンターは丸窓を挟んで壁の両側に納まっています。また実名だけ伏せていただければと思います。

1、ネットで高額商品を購入するときのリスク

インターネット経由で高額な商品を買うことには、現品が確認できない、本当に届くかわからないというリスクがあります。

実際に、問い合わせでも購入に至らないことの方がはるかに多いです。今回は服部様のご対応、服部新聞を送っていただいたことによる服部様の仕事や木材に対する考え方から信頼ができると感じ購入が実現しました。

2、加工についての不安

こちらは手触りなど写真では伝わりにくい部分が大きいので不安を完全に払拭するのは難しいと思います。しかし、今回加工前、加工途中、仕上げ後で多くの写真を送っていただきインターネット経由での購入としては最大限にサポートいただきました。

3、先にお金を払っても無事商品が到着するのかの不安

こちらは1、の理由により信頼していました。

4、商品を選ぶ時の不安

2、同様に実際に商品を見られないことは変わらないため、質に関してはWebサイト上の記述と写真を頼りにする以外にはありません。そのためその情報量、信頼性によって不安の大小が決まると思います。木材の両面の写真が掲載されていたり簡潔かつ必要な情報がありました。信頼については1、の通りです。

5、最後に服部商店の商品を選んで頂いた理由

扱う木材の豊富さ・サイトの更新状況・良心的な価格・問い合わせ時の対応が決め手となりました。



↑アラの耳付き板の耳を磨いている作業をしています。

耳を生かした加工をして下さい。と言う要請の為にサイドから写真を撮りました。→

耳と天との境目の所の手の当る場所『子供の手が当たっても優しい加工をして下さい。と言う要請がありました』を確認して頂く為に斜めから写真を撮りました。



F A X 0 7 2 - 4 2 2 - 8 5 7 7

勉強会の招待と展示即売会のご案内

1、第9回服部商店勉強会（2011年3月12日・土曜日セン原木の製材）に来たい。

はい

いいえ

2、特別出品材はございませんが木材展示即売会の内容は服部商店ホームページ掲載商品を3月1日～3月12日のお買い上げ頂いた方に限り10%オフします。（遠方の方で来場出来ない方はメール（masaaki@hattoriwood.co.jp）かFAX（072-422-8577）もしくはお電話で問い合わせ下さい。

会社名	
担当者名と人数	
住所	
お電話番号	
FAX番号	

〒 596-0011 大阪府岸和田市木材町 16-1

(株) 服部商店

服部 雅章

TEL 072-438-0173・0511